

授業改善書

科目名	異文化コミュニケーション
担当者	吉村貴之

授業の概要

現代の国際社会を考えるうえで、異文化接触や多民族共生の問題は重要である。本講座では、異文化コミュニケーション論の理論を学んだうえで、ユーラシアにあった前近代の世界帝国や近代の多民族国家の歴史を紐解きながら、様々な出自を持つ人々の共存のあり方を探る。

授業の問題点

この講座は専門科目でありながら、言語・コミュニケーション領域、史学・文化領域双方の必須科目であるばかりでなく、時間帯によっては子ども発達学科の受講生も多く、いずれの領域の学生にも関心をもってもらよう配慮する必要がある点が難しい。

授業改善の課題・方策

言語・コミュニケーション領域の学生向けに異文化コミュニケーションの理論に加え、今学期からは長らく課題としていた異文化間教育についても扱った。

しかし、その分、後半の事例研究の箇所が急ぎ足となり、特に後半は講師が一方向的に話す欠点が大きくなった。今後は解説事項を一層減らし、講義中に極力学生たちに質問を投げかけ、発言を引き出すようにしたい。

その他